

診療 9~18時ネット予約(0時~)  
木曜休診・土曜日午前診療

月 日 日 日 日 日 日 日

おなまえ: \_\_\_\_\_ 様 男 女  
熱性痙攣 あり( 回) なし  
ダイアアップ37.5℃以上で挿入。1回目( : )  
続けば8H後( : )  
熱が続いても2回で終了!!  
突発性発疹 すみ まだ  
インフルエンザワクチン: 1回・2回・未接種  
インフルエンザ すみ(A・B) まだ  
幼・保 年少・年中・年長・未満児  
小・中学校 年

内服 時間	4時		12時		20時		4時		12時		20時		4時		12時		20時	
	40																	
	39																	
	38																	
	37																	
	36.5																	
	咳																	
	鼻																	
	食水																	
	嘔吐																	
	下痢																	
	腹痛																	
	頭痛																	
	のど																	
	感染性胃腸炎・おなかのかぜ・のどのかぜ・咽頭炎・扁桃腺炎・中耳炎 RS・アデノ・溶連菌・気管支肺炎																	
	インフルエンザ A B ★登園許可希望の方は、必ずこの熱計表(熱記入して)ご持参下さい★ ★必ず6日休み・解熱後(平熱になって)学童児は3日、未就学児4日休み★																	

■気になったこと、聞きたいこと

熱さましの坐薬、頓服を使用した時は★をつけてください

お薬希望; 粉・シロップ・錠剤

▲熱さまし; ある( 個くらい)・なし  
希望; 坐薬・粉・錠剤

解熱剤は38~38.5℃以上(下がる幅は約1~2℃)  
5~6時間間隔で再度使用(ひどい時4時間で大丈夫)  
ぐずる時・痛い時・耳痛に使用、元気なら使わない

3歳まで	3歳以上ただし20kgまで	3歳以上
ナウゼリン(10)1個	ナウゼリン(30)2/3個	ナウゼリン(30)1個
15kg~25kg未満	25kg以上	
ドンペリドン5mg	ドンペリドン10mg	

★熱や症状の経過を記載して持ってきてください★

### 熱さましのQ&A

Q 粉と坐薬はどちらが効きやすいの?

A どちらも効果は変わりません。使いやすい方を使ってください。※嘔吐があるときは、坐薬がよいかもしれません。

Q 坐薬を使ってもお熱が下がりません・・・

A だいたい1~2℃くらいです。横ばいの子供さんもいます。(例) 39℃代→38℃代までです。  
熱の下がりがないでも、それ以上の熱の上がりをおさえています。

Q 熱さましは何時間ごとに使っているの?

A 5~6時間あけてください。どうしてもきつそうな時は4時間で使用して大丈夫です。

Q 熱さましは使ったほうがいいのか?

A きつそうであれば使ってあげてください。熱が高くても元気にしていれば、そのまま様子みてもいいです。  
熱がなくとも、頭痛い・耳痛い・機嫌が悪いときは使ってあげてください。

Q ダイアアップ(痙攣止め)・ナウゼリン(吐き気止め)の坐薬を使ったらどれくらいあければ使用しているの?

A 30分あければ、次の坐薬を使用しても大丈夫です。※痙攣止め(ダイアアップ)を優先しましょう。

Q 家にある坐薬使えますか?

A 使用期限は約5年持ちます。(みよし薬局では、スタンプがおされています。参考にしてください)

Q 坐薬の使用量がわかりませんか?

\*6ヶ月未満はアンヒバ100mg 1/2ケです。6ヶ月以上は、下の表を参考にしてください。

5~6kg	7~8kg	9~11kg	12~14kg	15~17kg	18~21kg
アンヒバ 100mg 2/3ケ	アンヒバ 100mg 3/4ケ	アンヒバ 100mg 1ケ	アンヒバ 200mg 2/3ケ	アンヒバ 200mg 3/4ケ	アンヒバ 200mg 1ケ